



共同獣医学部学術セミナー

演 題： ウシの視床下部・下垂体における新規の性機能調節機構

講 師： 角川 博哉 先生（獣医予防管理学研究室）

開 催 日 時： 令和3年1月12日(火) 16:00-17:00

場 所： 獣医学棟4F 大講義室

講 演 要 旨：

下垂体前葉中のゴナドトロフは、性機能を調節する重要ホルモンを分泌する細胞である。同細胞の機能障害は、ウシやヒトの排卵障害、性腺機能低下症、さらに不妊の原因になる。同細胞を促進する機構は視床下部が分泌するペプチド、GnRHにより、これはノーベル賞の決闘と言われるほど活発に研究された1960～1970年代の成果である。一方、同細胞を抑制する生理機構は卵巣からのエストラジオールが核内受容体に結合することによる。しかしこれら古典的知見だけでは説明できないことに遭遇することから、私達のグループはウシのゴナドトロフについて研究しなおし、新規の受容体4つを発見した。さらに新規受容体のリガンドの生合成部位の検討などにより、視床下部が合成するGnRH以外の新規調節因子も発見した。本セミナーでは、これらの研究の紹介と共に、ウシの飼育現場で繁殖障害等を予防する管理など、応用研究のアイデアも紹介する。

問合せ先：水野拓也（内線5894）